



重心ネットワーク部会 年間報告

令和4年度 都筑区自立支援協議会

幹事紹介

- 都筑区医師会訪問看護ステーション 部会長 宮島氏、小野氏
- 北綱島特別支援学校 生出氏
- 若葉台特別支援学校 吉川氏
- 横浜医療福祉センター—港南 大矢氏
- 横浜市多機能型拠点つづきの家 つづきワイワイ広場 横瀬氏
- // つづきの家相談支援センター 平野氏
- // 横浜障がい者サポートセンター—ぽれぽれ 宮田氏
- 都筑区福祉保健センター 宮崎氏、大津留氏、長瀬氏

重心ネットワーク部会設立の目的

ひとつの機関での解決が難しく、横断的であり地域課題的なものも多い重心児者の課題について、関係機関同士が相談や情報共有ができるように顔の見える関係、ネットワークづくりをする



今年度の取り組み

- ・利用できる資源がとて少ない、地域の中に支援体制を作りたい！
広げたい！
- ・重心児者の生活のしづらさは複合的であり、ひとつの機関では解決が難しい
- ・一方で、支援者同志が相談、情報交換する場・機会が少ない、だからこそ支援者のネットワークと啓発
- ・昨年に引き続き重心の方を支援するにあたり、基礎的な研修を行い、スキルアップを図る

重心の方の摂食について ～基礎研修・ネットワークを考える～

講師：ニュータウンはぐくみ歯科 松澤 直子氏

第1部 講義「摂食について」 摂食の基礎的内容講義

第2部 事例紹介&グループワーク

『食べる』をテーマに重心の方のネットワークの必要性について本人の食べる事へ取り組みをネットワークを活用して継続している事例紹介

開催日時：令和4年11月4日(金) 10:00～12:00

会場：都筑区役所 6階大会議室

参加者：33名



講演会を振り返って

環境が変わると摂食困難となり、ご家族から他施設と比較されプレッシャーを感じていたが「誰にでもある、どこかで食べればよいと支援者側が認識しているとよい。」と先生のアドバイスで気持ちが楽になった。

医療・教育・福祉等で視点の違いにより連携が取りづらさを感じる事があるが、今回のケースのように繋がる事での効果を改めて感じた。

「楽しく食べる」という事の再認識。いろんな方面から見えていく事が大切。

自分から積極的に声を上げて関係機関と情報共有をする事の大切さ。

ライフステージで関わる中心機関が変わっていく事があると知った。支援者の繋がり・利用者が今どこのステージなのかを考える事も必要。

重心の方の生活上の課題(今回は摂食)について共有し、それぞれへの支援に繋げるきっかけとなった。

実際に会場で顔を会わせて多職種の方々とグループワークを行い、情報共有することができた。

来年度に向けて

「防災について」

災害時に重心の方々が安全安心して避難できる環境の情報提供できるように、現在の情報と課題を整理し取り組み中。



ご清聴

ありがとうございました